

平成30年度

学校自己評価表（最終評価）

学校運営計画					
学校運営方針		「誠意・着実・勤労・規律・向上」という校訓を踏まえ、佐渡の歴史と伝統を継承し郷土を愛し、心身ともに健康で豊かな人間性を養い、地域社会に貢献できる人材を育成する。 1 個人として必要な力や社会人として必要な資質の育成 地域の教育力を活用して、将来、必要とされる学力・能力を身につける。 2 生徒一人一人が自己の興味・関心、適性を理解した希望進路の実現 職業選択を視野に入れ、生きがいについて理解させる。 3 地域から必要とされる人材の育成 産業を支えて、地域から必要とされる生徒を育てる。			
昨年度の成果と課題		年度の重点目標	具体的目標		
成果として、キャリア教育の充実が図られたことや、きめ細やかな進路指導の結果、3年生の進路実現に繋がった。2年生でのインターシップでは職業観・勤労意欲を育成できた。1年生では進路意識啓発活動や、系列選択の準備の充実を図った。毎朝の登校指導や校内巡視を実施し、生徒の規範意識が高まった。模擬株式会社の取り組みによって各系列との繋がり深まったことや地域に対して学校教育活動を広くPRすることができた。課題として、佐渡総合FSTプランを活かしながら積極的な生徒の学習意欲・基礎学力と規範意識を向上させるとともに活動の成果を保護者に対してHP等を通じて広く情報提供する。		基本的な生活習慣の確立	教職員の共通理解の推進、規律遵守意識の向上を図る。		
		基礎学力の向上	授業の充実、学習が遅れがちな生徒への個別指導及び学習習慣の定着を図る。		
		キャリア教育の充実	生徒を取りまく社会への理解と自己の能力の向上や啓発、進路情報を充実させる。		
		地域と連携した教育活動の取組	系列の諸活動や部活動及び、生徒会活動の活性化を行い地域と連携を密にした教育活動を実践する。		
		教職員の資質・能力の向上	授業研修の充実、研修に対する教職員の意識の高揚を図る。		
重点目標	具体的目標	具体的方策		評価	
基本的な生活習慣の確立	教職員の共通理解の推進、規律遵守意識の向上を図る。	授業や日常生活の中で、言葉使い・挨拶・集団での行動様式の指導を行い、礼儀正しい生徒の育成を図る。(生徒指導)	A	A	B
		能率手帳を活用しながら、「自己管理能力」を育成する。「書く習慣」、「時間を意識する習慣」、「考える習慣」を養う。(1年次)	C	C	
		高校生としての自覚・マナーを育成する。(1年次)	B	B	
		①基本的な生活習慣確立に向けた継続的指導。(2年次)	B	B	
		②基本的な生活習慣が身に付くよう年次全員で指導する。(3年次)	A	A	
基礎学力の向上	授業の充実、学習が遅れがちな生徒への個別指導及び学習習慣の定着を図る。	生徒が授業に集中できるよう、学習環境を整える。(教務)	A		A
		基礎的・基本的内容を重視し、「わかる授業」の確立を目指した指導を行ない、基礎学力の確実な修得を図る。(教務)	B		
		自発的学習意欲の高揚と個性重視の教育を推進する。(教務)	B		
		生徒への個別指導を充実させる。(教務)	A		
		習熟度別講座、少人数別講座、グループ学習など多様で弾力的な授業形態に配慮する。(教務)	A	A	
		社会人講師等の積極的な活用や体験的・実践的な内容の充実を図る。(教務)	A		
		適切な科目選択が行えるよう、きめ細かなガイダンスを実施する。(教務)	B		
		「学校評価」を活用し、教育課程の実施上の問題点を明らかにする。(教務)	A		
		学力の向上および多様な進路に対応できるように、教育課程の見直しと編成をすすめる。(教務)	A		
		登校指導、校内巡視(通年)を行うことにより、遅刻を減らし、時間を守るとともに、しっかりと授業を受ける態度を育てる。(生徒指導)	A	A	
		学習環境を整えるために、校内外の清掃を徹底し、美化を行い保持する。(保健)	A		
		学習環境を整えるために、月に一回の美化週間・秋季落ち葉拾いを実施し、生徒・全職員で美化に取り組む。(保健)	A	A	
		授業に真剣に取り組む態度と家庭学習の習慣を定着させる。(1年次)	B	B	
		成績不振者への補習を実施し基礎学力を定着させる。(1年次)	A	B	
		積極的に授業に取り組む態度の育成。(2年次)	B	B	
進路実現のために、基礎学力の向上を図る。(3年次)	B	R			

		学習環境を整備し、目的意識を持って授業を受けるよう指導する。(3年次)	A	B	
キャリア教育の充実	生徒を取りまく社会への理解と自己の能力の向上や啓発、進路情報を充実させる。	進路希望調査(1～3年4月)新入生意識啓発講演会(1年4月)の実施(進路)	A		
		進学希望者の面談実施(2・3年生各年1回)(進路)	A		
		就職・進学ガイダンスの実施(2・3年生各年1回)(進路)	A		
		進路だより「翌檜」発行を通じ、進路情報の提供(進路)	B	A	
		『FSTプランノート』『就職・進学を考える』『進路の手引き』の活用(進路)	B		
		実力テスト(1年生国・数・英 年4回)の実施(進路)	A		
		校外模試(大学短大・公務員)の実施(進路)	A		
		進学補習の実施(1年次)	C		
		ガイダンス・個別面談などを通して、進路についての情報を提供し、意識の向上をめざす。(1年次)	A	B	A
		「産業社会と人間」や「総合的な学習の時間」を計画的に実施し、自分をみつめ、社会を意欲的に知ろうとする姿勢を養う。(1年次)	A		
		進学補習の実施(2年次)	A	A	
		ガイダンス・個別面談等による進路指導。(2年次)	A		
		就職希望者の面談実施(3年次)	A		
		進学補習の実施(3年次)	A		
希望進路の実現を図るため、早期の進路選択とガイダンス・個別面談を実施する。(3年次)	A	A			
社会人としての心構えについて指導する。(3年次)	A				
地域と連携した教育活動の取組	系列の諸活動や部活動及び、生徒会活動の活性化を行い地域と連携を密にした教育活動を実践する。	交通講話・バイク実技講習会や車両点検を実施し交通安全意識の高揚を図る。(生徒指導)	A		
		家庭との連絡を密に取り、協力して取り組む。(生徒指導)	B	A	
		いじめ等防止委員会と連携し、アンケート等を行い、実態を把握し、早期に対応できるようにする。(生徒指導)	A		
		PTAだよりの発行(年2回)。(渉外)	A		
		PTA研修会の実施。(渉外)	A	A	A
		同窓会だよりの発行(2月頃)。(渉外)	A		
		同窓会総会のための役員協議会の計画・総会の参加(渉外)	A		
		担任・関係職員・カウンセラー・医療機関・保護者との連携を密にする。(保健)	A	A	
		年2回学校評議員会を開催し、学校評議員の本校教育への理解と意見を得るとともに本校の教育活動への指針とする。	A	A	
		適宜有効な情報を学校ホームページに掲載し、充実を図る。(情報)	B	B	
教職員の資質・能力の向上	授業研修の充実、研修に対する教職員の意識の高揚を図る。	校外での研修に積極的に参加し、校内研修を実施し、研修の共有化を図る。(生徒指導)	A	A	
		外部講師による職員向けの研修会を開催したり、各種研修会に参加し、人権教育、同和教育、男女参画問題に関する意識の向上と理解を深める。(人権)	A		A
		各種研修会の資料・内容を職員全体で共有する。(人権)	B	A	
		全校やクラスを対象にした人権教育、同和教育、男女共同参画に関する講話や授業を実施する。(人権)	A		
成果		○FSTプランノート(進路の手引き)を有効活用した。進路学習を積み重ね、特に3年次では、進路指導部との連携強化を図り、生徒の進路希望に応じた適切な指導を行った結果、希望する進路実現につながった。2年次では全員による就業体験を実施し、職業観・勤労観を育成することができた。また、沖縄方面への修学旅行を行い、平和学習や人権学習、団体行動やルールの大切さを学ぶことができた。1年次は、進路意識啓発講演を行うとともに、「産業社会と人間」の授業や「総合的な学習の時間」で自分の生き方を考え、ライフプランを設計した。	総合評価		
		○「いじめ等防止委員会」を中心に、「いじめの定義」を踏まえたいじめにおける組織的な対応を行うことで、「いじめを見逃さない、生徒の命を守り抜く」姿勢が浸透してきた。 ○全教職員による登校時の指導、校内巡視を毎日実施した結果、生徒の規範意識を醸成させることができた。 ○PTA活動では、挨拶運動や各種研修会を実施するなど、積極的な取り組みを行った。 ○人権教育研究推進事業の継続として、全年次で年2回の公開授業を行った。 ○模倣株式会社や農産・加工系列の学習活動等により、地域との連携を推進することができ、学校の教育活動を広く地域へ発信することができた。	A		